

【テニスルールクイズ 2024】 2月28日 JLTF 京都府支部

- ① トスをあげた後、サーバーが打つのを止めて、ボールをラケットで止めた。
- a. フォールトになる
 - b. フォールトにならない、そのサーブをやり直す

【答】 b. フォールトではない。サーブをするサーバーはボールを手でつかんでも、ラケットで止めても、地面に落としてもかまわない。

- ② 第2サーブの前、地面にボールを突いていたら、他のコートからボールが転がって来た。
- a. 第1サーブからのやり直し
 - b. 第2サーブ

【答】 b. ただし、サーバーが第2サービスのモーションに入った後に、ボールが入ってきた場合、プレーが妨害されたとして、第1サービスからポイントをやり直すことができる。

- ③ A選手はインプレー中に帽子を落としたが、そのままポイントは終了した。
- a. そのポイントをやり直し、A選手は次に落とし物をしたら失点する
 - b. そのポイントは成立

【答】 b. 相手プレーヤー（チーム）から妨害を受けたとレットのコールがかからなかったから。落とし物をしたプレーヤー（チーム）がコールすることはできない。

- ④ インプレー中、先ほどサーバーが言ったスコアが違うと思い、気になるのでプレーを止めた。
- a. 選手同士で話し合い、納得したら、今のポイントをやり直す
 - b. プレーを止めた選手の失点

【答】 b. 気になってもプレーを止めてはいけません。ポイントが終わってから確認しましょう。（カウントの修正はゲーム内ならできます）

- ⑤ コート上のファーストサーブフォールトだったボールが、突風で転がって来た。邪魔にならないようにネット際に寄せていたのに。
- a. 「レット」をかけて、そのポイントをやり直すことができる
 - b. 元からコート上にあったボールに対しては、「レット」はかけられない

【答】 a. 突風は例外でポイントのやり直しができる

- ⑥ AB 対 CD の試合、ノーアドでプレーすべき所を、デュースコートから 1 ポイントして間違いに気がついた。このポイントは AB が取った。
- a. その結果をそのまま成立させ、そのゲームは終了
 - b. もう 1 ポイントプレーして、AB が取ったらゲーム終了。CD が取ったらノーアドに切り替える。

【答】 a. 終わったポイントは成立する。

- ⑦ オムニコートの試合、フォールトとコールしたが入っていたので訂正した。(1 回目のミスジャッジ/ サービスエースではなかった)
- a. ミスジャッジした選手の失点
 - b. そのポイントのやり直し (第 1 サーブから)

【答】 b. 1 回目に関り故意ではない妨害としてポイントレットとなる。

- ⑧ ダブルスの試合、スピibroブがベースライン際に落ち、追いかけていた選手は黙って打ち返したが、ネット近くにいたパートナーが「アウト」とコールした。打ち返した選手は「わからなかった」と言っている。
- a. ボールに近い選手は打ち返しているし、遠い位置の選手のコールなので、「アウト」は無効
 - b. ダブルスの判定とコールは、1 人の選手が行えば成立するので、「アウト」になる

【答】 b.

- ⑨ 6 ゲーム先取、A vs B の試合、6-6 でタイブレークをしてしまった。現在、A からタイブレークの 2-1。
- a. 6-5 でリードしていた方が試合の勝者
 - b. そのままタイブレークを続けて、タイブレークの勝者が試合の勝者

【答】 b.

- ⑩ ダブルスの試合中、レシーブの順番（レシーブサイド）を間違えた。
- 間違いに気づいたら、直ちに訂正（元のサイドに戻る）
 - そのゲームだけは間違ったままプレーを続け、そのチームが次にレシーブする順番のゲームになった時に、本来のサイドに戻る

【答】 b.

Q&A

Q. インプレー中、他のコートからボールが転がってきた場合

A. インプレー中、他のコートからボールが転がってくるなど、プレーヤーのプレーに妨害が起こった場合、レット（ポイントのやり直し）になる。

ただし、レットがコールされたときに、次の状況が起こった場合は、レットは取り消される。

- レットがコールされる前に打たれたボールが、コート内に正しく入らなかった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームは失点する。
- レットがコールされる前に打たれたボールが、明らかなウイニングショットまたはエースとなった場合は、そのボールを打ったプレーヤー・チームの得点となる

ポイントが終了した後で、インプレー中に妨害があったとして、ポイントのやり直しを要求することは出来ない

Q. オーバーネットについて、ボールを打つ前にラケット、または身体の一部がネットより相手側に入るとオーバーネットですか？
またセルフジャッジの場合、打った人の自己申告になりますか？

A. オーバーネットはルールブックではファウルショットになります。

ファウルショットはネットの仮想延長線を越して打てば失点。

打ってからネットを越えても失点にはならない。

セルフジャッジの場合、両プレーヤー・チームのいずれかがコールでき、その判定が成立する。